

国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所
資料配布

配布日時	平成16年3月25日 14時00分
------	----------------------

件名	紀の川大堰の魚道でアユの遡上始まる (第1報) (平成16年3月24日に右岸階段式魚道 でアユの遡上を目視確認しました。)
----	---

概要	<p>紀の川大堰の魚道では、紀の川大堰暫定運用後、初めてのアユの遡上時期を迎え、3月24日にアユの遡上を目視確認することができました。 (右岸階段式魚道において実施した魚類調査(箱型トラップによる捕獲)では、19日に約900尾(14時間あたり)のアユ捕獲を確認しています)</p> <p>今後、本格的な遡上の時期を迎えます。和歌山河川国道事務所では引き続き調査結果を報告してまいります。</p> <p>【アユ遡上ホームページURL : http://www.mlit.go.jp/river/ayu/index.html】</p>
----	--

取り扱い	テレビ・ラジオ : _____ 新聞 : _____
------	-------------------------------

同時配布	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ
------	--

問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 TEL 073-424-2471 (代) 河川副所長 <small>むれ</small> てるひさ 牟禮 輝久 (内線204) 調査第一課長 <small>わさ</small> きへい 和佐 喜平 (内線351)
--------	--

紀の川大堰の魚道でアユの遡上始まる（第1報）

（平成16年3月24日に右岸階段式魚道で

アユの遡上を目視確認しました。）

○概要

紀の川大堰は、河口から約6.2kmに位置し、平成15年6月から暫定運用を開始しています。

今年は、紀の川大堰暫定運用後、初めてのアユの遡上時期を迎え、紀の川大堰魚道において3月24日にアユの遡上を目視調査で確認することができました。

（なお、新六ヶ井堰でのアユの遡上は3月24日現在、確認できていません）

注1) 紀の川では、「アユの遡上確認」とは、1時間あたり10尾以上遡上した場合としています。

注2) 3月19日に実施した魚類調査では、約900尾のアユを捕獲確認しています。

本格的な遡上を確認するため、しばらくは遡上動向の把握を行い1時間あたり100尾以上のアユの遡上が確認できれば報告してまいります。

遡上状況は下記のとおりです。

調査箇所		紀の川大堰の左岸階段式魚道及び右岸階段式魚道	
調査実施者		近畿地方整備局 和歌山河川園道事務所	
調査方法		目視調査	魚類調査
遡上状況	右岸階段式魚道	調査日 3月24日 調査時間 8:00～10:00 確認方法 目視調査 遡上尾数 32尾 (1時間あたり)	調査日 3月19日 調査時間 7:00～21:00 調査方法 トラップ調査 捕獲尾数 約900尾 (14時間あたり)
	左岸階段式魚道	調査日 3月24日 調査時間 8:00～10:00 確認方法 目視調査 遡上尾数 0尾 (1時間あたり)	調査日 3月20日 調査時間 7:00～21:00 調査方法 トラップ調査 捕獲尾数 約50尾 (14時間あたり)

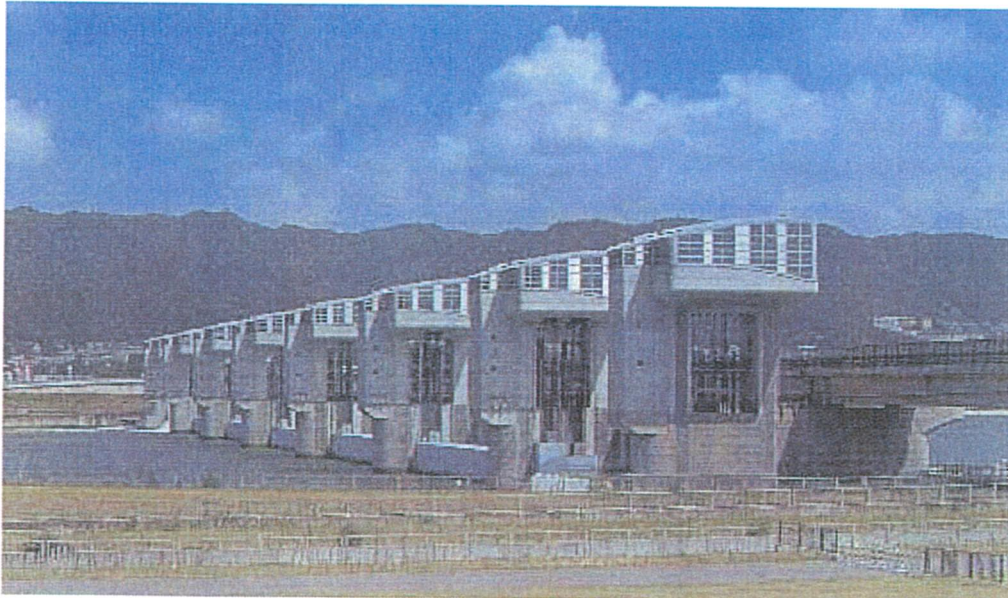
魚道の様子



アユの遡上が確認できた右岸階段式魚道

紀の川大堰の紹介

紀の川大堰は、平成15年6月から暫定運用を開始しています。紀の川大堰は川の水量調節機能の高い「可動堰」で、洪水時にはゲートを引き上げて、安全に水を流下させることができます。また、紀の川の水は流域の都市用水、農業用水として広く利用されています。紀の川大堰はこれらの需要に安定的に水を供給することができる施設でもあります。



撮影：平成15年8月

魚道の紹介

1. 階段式魚道

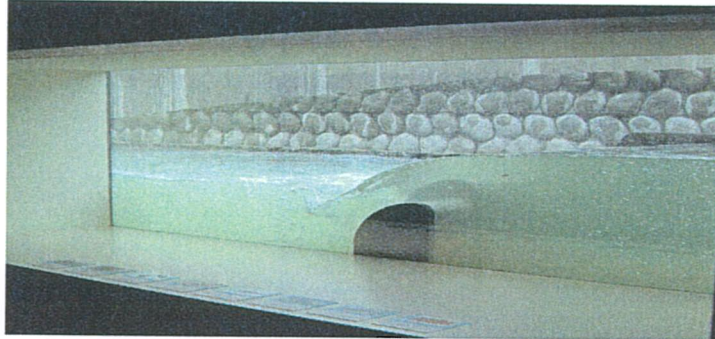
階段式魚道は、階段型落差を有する隔壁と隔壁間のプールから構成され、遡上魚は隔壁天端からの越流水脈を利用して遡上し、また、プール内で休憩したり越流水脈を遡上するための助走部としてプールを利用するものです。この魚道は、水産有用種であるアユ等に対して遡上実績も多く遡上効果が高いといわれています。

2. デニール付バーチカルスロット式魚道

デニール付バーチカルスロット式魚道は貴重種であるサツキマスを視野に入れ比較的速い流れを好むサケ・マス類及び底生魚を対象として設計しており、粗流板による流速緩和機能を持つデニール式魚道と鉛直方向のスリットによるスロット式魚道及び隔壁下部に潜孔を組み合わせたハイブリット式魚道を設けたものです。

3. 人工河川式魚道

水深、横断形状、縦断勾配を工夫することで、多様な流況が確保でき全ての魚種、甲殻類等の遡上に適しています。玉石や砂利を用いて、自然の河川のような状況を再現しています。



魚道観察室



紀の川大堰における3種類の魚道

過去の遡上状況

○新六ヶ井堰における過去5年の遡上確認日及び確認場所

目視遡上確認日	最終遡上確認日	確認場所
H 1 1. 3. 2 5	H 1 1. 6. 6	新六ヶ井堰魚道
H 1 2. 4. 5	H 1 2. 6. 3	新六ヶ井堰魚道
H 1 3. 4. 6	H 1 3. 5. 2 8	新六ヶ井堰魚道
H 1 4. 4. 6	H 1 4. 5. 2 3	新六ヶ井堰魚道
H 1 5. 3. 2 9	H 1 5. 5. 2 6	新六ヶ井堰魚道
H 1 6. 3. 2 4		紀の川大堰魚道

○アユの総遡上推定量（新六ヶ井堰）

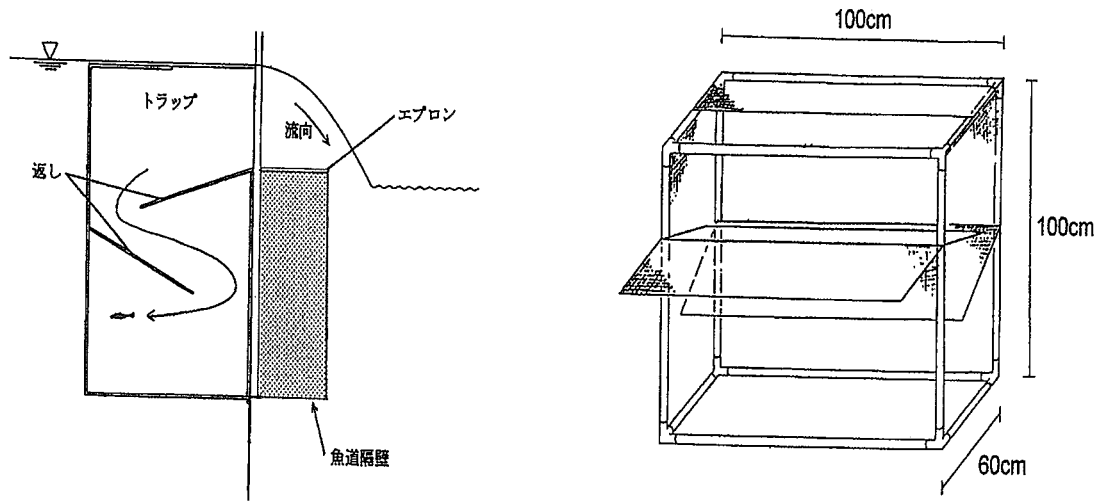
調 査 年 度	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年
魚道遡上推定量(尾)	48.9万	81.1万	19.5万	27.0万	15.6万
すくい越し量(尾)	39.2万	53.0万	32.8万	10.3万	6.8万
総遡上推定量(尾)	88.1万	134.1万	52.3万	37.3万	22.4万

調 査 年 度	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
魚道遡上推定量(尾)	90.9万	33.1万	25.0万	76.6万	14.7万
すくい越し量(尾)	10.5万	20.1万	4.8万	12.8万	7.3万
総遡上推定量(尾)	101.4万	53.2万	29.8万	89.4万	22.0万

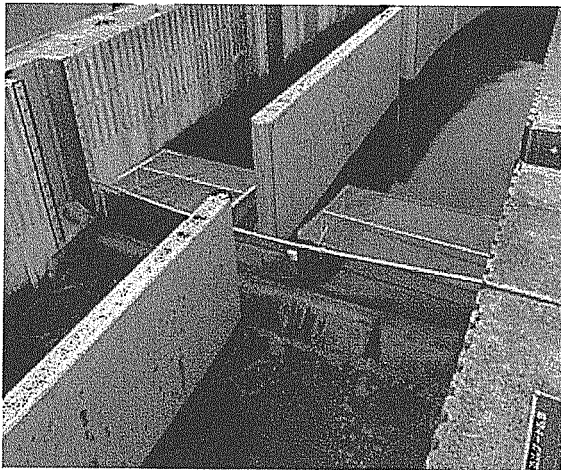
*アユの総遡上推定量は、新六ヶ井堰魚道におけるアユの遡上量と漁業関係者が実施しているすくい越し量（尾）より算出しています。

魚類調査

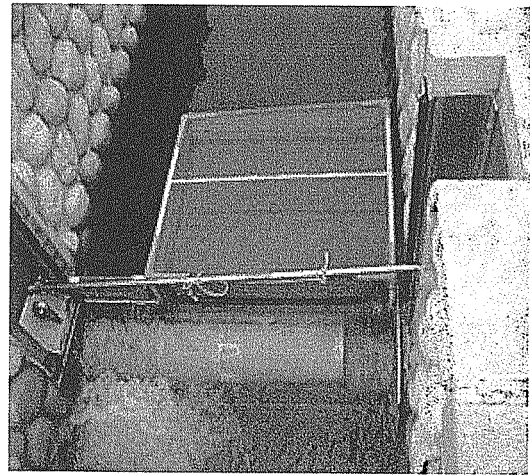
○トラップ調査



箱型トラップ模式図と設置方法



【右岸階段式魚道箱型トラップ設置状況】



【左岸階段式魚道箱型トラップ設置状況】

魚類調査状況